

各会計予算特別委員会会議録

○議事日程（第1号）

平成29年3月8日（水曜日） 午後 1時40開会

- 第 1 議案第26号 平成29年度羽幌町一般会計予算
- 第 2 議案第27号 平成29年度羽幌町国民健康保険事業特別会計予算
- 第 3 議案第28号 平成29年度羽幌町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第29号 平成29年度羽幌町介護保険事業特別会計予算
- 第 5 議案第30号 平成29年度羽幌町下水道事業特別会計予算
- 第 6 議案第31号 平成29年度羽幌町簡易水道事業特別会計予算
- 第 7 議案第32号 平成29年度羽幌町港湾上屋事業特別会計予算
- 第 8 議案第33号 平成29年度羽幌町水道事業会計予算

○出席委員（11名）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1番 村田定人君 | 2番 金木直文君 |
| 3番 阿部和也君 | 4番 船本秀雄君 |
| 5番 小寺光一君 | 6番 熊谷俊幸君 |
| 7番 平山美知子君 | 8番 磯野直君 |
| 9番 逢坂照雄君 | 10番 寺沢孝毅君 |
| 11番 森淳君 | |

○欠席委員（0名）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した人

- | | |
|-----------|-------|
| 町 長 | 駒井久晃君 |
| 副 町 長 | 江良貢君 |
| 監 査 委 員 | 鈴木典生君 |
| 教 育 長 | 山口芳徳君 |
| 会 計 管 理 者 | 湊正子君 |
| 総 務 課 長 | 飯作昌巳君 |
| 総 務 課 | |
| 電 算 共 同 化 | 金子伸二君 |
| 推 進 室 長 | |
| 総務課総務係長 | 伊藤雅紀君 |

総務課職員係長	門 間 憲 一 君
総 務 課	道 端 篤 志 君
情報管理係長	酒 井 峰 高 君
地域振興課長	木 村 和 美 君
地域振興課主幹	富 樫 潤 君
地域振興課	木 村 謙 彦 君
政策推進係長	三 浦 義 之 君
地域振興課	葛 西 健 二 君
広報広聴係長	越 谷 弘 和 君
財務課長	山 川 恵 生 君
財務課財政係長	室 谷 眞 二 君
財務課経理係長	蟻 戸 貴 之 君
財務課税務係長	近 藤 優 樹 君
町民課長	熊 谷 裕 治 君
町 民 課	山 田 太 志 君
総合受付係長	熊 木 良 美 君
町民課住宅係長	竹 内 雅 彦 君
町 民 課	宇 野 延 仁 君
町民生活係長	室 谷 みどり 君
町 民 課	更 科 滋 子 君
環境衛生係長	奥 山 洋 美 君
福祉課長	金 丸 貴 典 君
福祉課	村 上 達 君
社会福祉係長	
福祉課子ども係長	
福祉課	
国保医療年金係長	
健康支援課長	
健康支援課	
地域包括支援	
センター室長	
健康支援課	
介護保険係長	
健康支援課	
保健係長	

健康支援課	金子和恵君
保健係主査 健康支援課	清水雅代君
保健係主査 健康支援課	
地域包括支援 センター室	脇坂千恵君
地域包括支援 センター係主査 健康支援課	
地域包括支援 センター室	高本勇一君
地域包括支援 センター係主査 建設課長	三上敏文君
建設課主任技師	石川隆一君
建設課主任技師	笹浪満君
建設課主幹	上田章裕君
建設課管理係長	更科信輔君
建設課	山平博久君
土木港湾係主査	宮崎寧大君
上下水道課長	吉田吉信君
上下水道課 主任技師	逢坂信吾君
上下水道課 管理係長	小笠原 聡君
業務係主査	鈴木 繁君
農林水産課長	高橋 伸君
農林水産課主幹	佐々木 慎也君
農林水産課	
農政係長	大平良治君
商工観光課長	

商工観光課	木村康治君
観光振興係長 商工観光課	大西将樹君
商工労働係長	敦賀哲也君
天売支所長	棟方富輝君
焼尻支所長	
学校管理課長	春日井征輝君
兼学校給食	
センター所長 学校管理課	杉野浩君
総務係長 学校管理課	藤井延佳君
学校教育係長 社会教育課長	渡辺博樹君
兼公民館長 社会教育課	高橋司君
社会教育係長 社会教育課	春日井寿美子君
図書係長 社会教育課	近藤健弘君
体育振興係主査 農業委員会	今村裕之君
事務局長 農業委員会	高野正晃君
農地係長 選挙管理委員会	飯作昌巳君
事務局長 選挙管理委員会	道端篤志君
総務係長	

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長	井上 顕君
総務係長	清水 聡志君
書記	土清水 彬君

◎委員長挨拶

○磯野委員長 会議に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今期定例会におきまして、平成29年度羽幌町各会計予算を審議するに当たり設置されました特別委員会に副委員長として小寺委員が、委員長に私が皆様から推薦をいただき、その職責を担うこととなりました。厳しい財政状況にあります中、平成29年度の重要な行財政の方向を決定する予算委員会であります。副委員長ともども懸命に務めたいと思いますので、委員皆様の特段のお力添えをお願い申し上げ、簡単であります。就任の挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

◎開会の宣告

○磯野委員長 ただいまから羽幌町各会計予算特別委員会を開会いたします。

(開会 午後 1時40分)

◎開議の宣告

○磯野委員長 本日の欠席届並びに遅刻届はありません。

これから本日の会議を開きます。

◎議案第26号～議案第33号

○磯野委員長 本委員会に付託された案件は、議案第26号 平成29年度羽幌町一般会計予算、議案第27号 平成29年度羽幌町国民健康保険事業特別会計予算、議案第28号 平成29年度羽幌町後期高齢者医療特別会計予算、議案第29号 平成29年度羽幌町介護保険事業特別会計予算、議案第30号 平成29年度羽幌町下水道事業特別会計予算、議案第31号 平成29年度羽幌町簡易水道事業特別会計予算、議案第32号 平成29年度羽幌町港湾上屋事業特別会計予算、議案第33号 平成29年度羽幌町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

お諮りします。既に本会議において平成29年度各会計予算の提案理由説明が終わっておりますので、本委員会では一般会計予算、各特別会計予算及び水道事業会計予算の内容説明を財務課長及び上下水道課長に求めることにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○磯野委員長 異議なしと認め、ただいま説明した順序に従って進めることに決定しました。

それでは、一般会計予算及び各特別会計予算の内容説明を求めます。

財務課長、三浦義之君。

○三浦財務課長 それでは、私から予算概要を説明させていただきますが、その前に今年

の予算書の変更点についてご説明いたします。

今までの予算書は、節単位ということでまとめて予算額を記載しておりましたが、今回は事業単位ということで、節ごとに予算額を記載しております。従来の節単位では各事業がまとまっているため、中身がわかりにくいという状況でございました。今回は、これらの反省点から記載方法を変更したものでございます。様式変更によりなれない部分もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

それでは、お配りしております平成29年度予算説明資料に基づき説明させていただきます。1ページ及び2ページにつきましては、町長の提案理由で述べておりますので、省略をさせていただきます。

3ページをお開き願います。科目別歳入内訳でございしますが、それぞれの収入科目ごとに一般財源、経常特定財源と臨時特定財源に分けております。表の右側の合計欄で収入の多い順位上位3つを丸つき数字で表示してあります。平成29年度は、①、地方交付税、②、町債、③町税の順となっております。前年度は、羽幌小学校改築事業により国庫支出金が③となっております。ごらんいただきまして、全体の説明は省略をさせていただきます。

次に、4ページをお開き願います。科目別歳出内訳の総括表でございしますが、その内訳は次の5ページ、経常費、6ページ、臨時費と分けて記載しておりますので、それぞれ説明いたします。ただいま説明しているのは予算の説明資料ということでございます。5ページ、経常費で表の右側の網かけをしている増減額をごらんください。当初予算欄では、前年度との増減額をあらわしておりますが、主なものを申し上げます。3款民生費で5,775万1,000円、4.9%の増加は、認定こども園施設給付費や障害者自立支援事業の扶助費の増加及び介護保険事業など特別会計繰出金の増加が主なものでございます。4款衛生費で3,797万6,000円、8.4%の減少は、し尿処理事業負担金や廃棄物収集処理事業負担金の減少が主なものでございます。6款農林水産業費で2,238万5,000円、14.7%の増加は、焼尻めん羊牧場指定管理事業を臨時費から経常費に移動したことが主なものでございます。7款商工費で2,408万7,000円、44.6%の増加は、サンセットプラザ指定管理事業を臨時費から経常費に移動したことが主なものでございます。8款土木費で4,222万3,000円、8.8%の増加は、下水道事業特別会計繰出金や除排雪事業の増加が主なものでございます。10款教育費で2,208万4,000円、8.5%の増加は、総合体育館指定管理事業を臨時費から経常費に移動したことが主なものでございます。12款公債費で5,251万7,000円、7%の増加は、償還金の増加によるものでございます。13款諸支出金で2,934万2,000円、3.4%の増加は、職員人件費によるものでございます。合計では2億937万4,000円、4.5%の増加となっております。以上が経常費の増減の主なものでございます。

6ページをお願いします。臨時費を款別にあらわしておりますが、増減の主なものを申

し上げます。2款総務費で3,687万4,000円、13.5%の増加は、町有施設解体事業や離島航路欠損補助事業、空き家対策事業が主なものでございます。3款民生費で7,903万3,000円、70.3%の減少は、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業や天売高齢者支援センター外部改修工事完了が主なものでございます。4款衛生費で6,224万5,000円、39.6%の減少は、衛生施設組合負担金の減少や日本脳炎定期予防接種事業の経常費が主なものでございます。7款商工費で8,518万8,000円、36.1%の減少は、サンセットプラザ指定管理事業の経常費への移動や地下ピット改修工事完了が主なものでございます。8款土木費で4,005万8,000円、7.4%の増加は、道路新設改良事業やバラ園再整備工事の増加が主なものでございます。9款消防費で1,199万3,000円、35.3%の減少は、北留萌消防組合負担金の減少や防災のしおり作成事業が主なものでございます。10款教育費で1億1,045万2,000円、9.8%の減少は、羽幌小学校改築事業が主なものでございます。以上が臨時費の増減の主な内容で、臨時費合計では2億8,537万4,000円、10.9%の減少となっております。

次に、7ページ、8ページでございますが、この表は節別に集計したものでございます。ごらんをいただきまして、全体の説明は省略をさせていただきます。

次に、9ページをお願いします。この9ページから16ページまでは、本年度の主な臨時事業一覧として事業内容と事業費、財源内訳を記載しておりますが、事業の主なものについてご説明いたします。2款総務費、離島定住促進事業でうみやまかわ新聞運営、連携地域交流事業補助309万4,000円は、地域にある要素のテーマで新聞づくりを行いながらみずから暮らす地域を学び、かつ他地域との交流を通して改めて地域への理解度を高めることにより、子供たちの郷土愛を育む教育プログラムであります。導入地域は天売小学校で、子供たちの将来の地域への定住を期待する事業でございます。財源は、離島活性化交付金とまちづくり応援基金、一般財源を充てております。10ページでございます。町有施設解体事業9,166万3,000円は、老朽化した施設を解体する事業ですが、内容は閉園となる羽幌保育園、閉鎖済みの旧火葬場、旧北町団地の平家3棟、焼尻支所前倉庫、旧光洋小学校前バス停の5件となっており、財源は過疎債等を予定しております。

3款民生費で老人福祉センター施設管理事業986万8,000円は、暖房施設の老朽化により集中暖房方式から各部屋暖房へ切り替える事業と2階ホールの照明をLED化して省エネ化をするものでございます。次に、シングルペアレント移住雇用マッチング事業600万4,000円は、本町の労働力不足や少子化、若年層の流出対策としてシングルマザーを受け入れて移住、定住を図るもので、PRや居住用住宅修繕、専属職員を雇用して対応するものでございます。

4款衛生費、すこやか健康センター施設管理事業1,351万7,000円は、平成9年建築の健康センター補修事業で、外壁塗装工事を実施するものでございます。

12ページをお開き願います。6款農林水産業費で綿羊飼養者育成事業32万3,000円は、綿羊飼養者の育成を図るため、学生などに対し体験学習の場を提供するものでございます。財源は、まちづくり応援基金を活用します。

7款商工費で雇用促進事業876万円は、雇用促進のため新たに求職者を雇用する者に対する補助、助成で、過疎対策事業債や一般財源を充てております。

14ページでございます。8款土木費でバラ園施設管理事業3,927万1,000円は、バラ園再整備工事として園路のアスファルト化や雨水対策、バリアフリー化などを行い魅力あるバラ園とするもので、過疎対策事業債やまちづくり応援基金を充てております。農村公園施設管理事業1,618万5,000円は、老朽化により撤去した遊具の整備として子供たちが遊べる複合遊具を2基設置するものでございます。

10款教育費でコミュニティ・スクール運営事業44万3,000円は、学校運営や学校の課題について保護者や地域住民が参画することにより、地域とともにある学校を目指す事業で、委員報酬や研修旅費を予算化しております。16ページでございます。文化公演事業290万円は、町民の芸術に対する関心を高め、芸術文化活動の促進を図るため、著名人による文化公演を開催する事業ですが、今年は春風亭昇太落語公演などを予定しております。

以上で平成29年度の主な事業の説明を終わります。

次に、目的税の用途内訳ですが、目的税についてはその名目のおり使い道が限定され、特定の費用に充てなければならない税金であります。ここでは、その使い道について説明しております。都市計画税については都市計画事業として下水道事業に、入湯税は観光振興ということでサンセットプラザ運営事業に充当し、地方消費税交付金については社会保障経費ということで国民健康保険事業に充当しております。

18ページからは、特別会計予算の概要となっております。これについては、町長からの提案理由がありましたので、私からの説明は省略をさせていただきます。

22ページの主な臨時事業一覧についてご説明いたします。国民健康保険事業特別会計では、健診の受診者向上対策として未受診者への受診勧奨委託などを予定しております。

下水道事業特別会計では、羽幌浄化センター修繕や排水区工事などを予定しております。簡易水道事業特別会計では、量水器交換や漏水調査、浄水場テレメーター更新などを予定しております。

次に、23ページでございますが、給与費予算調書（当初）でございます。ここには、議会議員、町の特別職、それから一般職として定数内職員及び再任用短時間職員、嘱託職員の報酬を含めました人件費の状況でございます。一番下の右側の欄、合計の差し引き計欄でございます。28年度と比べまして2,977万3,000円の人件費が増となっているものでございます。

次に、24ページでございますが、地方債現在高見込み及び交付税補填調書（資料）でございます。（1）、27年度末現在高では、一番下の総合計の欄でございますが、97

億2,911万8,000円となっております。これが右から3番目、(7)、29年度末現在高見込み額では100億4,710万8,000円となる見込みでございますが、それを会計区分及び起債区分ごとに内訳を載せてございます。この状況でいきますと、(1)引く(7)の差額3億1,799万円増加する見込みとなっておりますが、この要因は羽幌小学校改築に伴う過疎対策事業債の増加が主なものでございます。また、このうち後年度に交付税で補填される額は、表の右から2番目にありますように64億2,617万3,000円、約64%と見込んでおります。

次の25ページで、北留萌消防組合予算の概要でございます。2、羽幌消防署分について説明いたします。①、歳出において右側の臨時費で主なものは、小型動力ポンプつき積載車更新1,298万5,000円は、築別分団車両、平成2年式の車両を更新するものでございます。

次の26ページをお開き願います。羽幌町外2町村衛生施設組合予算の概要でございますが、④、臨時的経費の内訳は、一般廃棄物処理施設整備事業で堆肥化施設部品購入1,382万4,000円、きりりサイクル工房整備工事2,268万円となっております。

以上で予算説明資料によります内容の説明を終わらせていただきます。よろしく願い申し上げます。

○磯野委員長 次に、水道事業会計予算の内容説明を求めます。

上下水道課長、宮崎寧大君。

○宮崎上下水道課長 それでは、平成29年度羽幌町水道事業会計予算についてお配りしております予算書に基づきまして説明をさせていただきます。

初めに、22ページをお開き願います。平成29年度羽幌町水道事業会計予算実施計画説明書、収益的収入及び支出でございますが、金額につきましては消費税込みで記載をしております。まず、1款水道事業収益、1項営業収益の1目給水収益、水道使用料につきましては2億2,539万9,000円を計上しております。これは、過去3年間の増減率の平均により算出しております。対前年比で22万6,000円の減少となっております。

2目その他の営業収益では、3節雑収益の下水道使用料徴収委託料500万円のほか、1節給水装置手数料、2節検査手数料等を合わせまして571万1,000円を計上しております。

次に、23ページをお願いいたします。2項営業外収益でございますが、会計制度の改正に伴いまして新設された2目長期前受金戻入が主なもので、これは現金の伴わない収益となります。

次に、24ページをお願いいたします。支出の部で、1項営業費用、1目原水及び浄水費で5,357万9,000円を計上しております。対前年比107万円の増加で、主な要因としましては工事請負費の増によるものでございます。

次に、26ページをお願いいたします。2目配水及び給水費としまして3,146万2,

000円を計上しております。対前年比1,904万9,000円の減少で、これは次の27ページの工事請負費における量水器取りかえ工事の取りかえ個数の減によるものでございます。

次に、28ページをお願いいたします。3目の総係費は、主に職員人件費や内部管理経費で3,125万8,000円を計上しております。対前年比180万8,000円の減少で、人件費の減などによるものでございます。

次に、31ページをお願いいたします。4目減価償却費に5,484万9,000円、5目の資産減耗費に2,000円をそれぞれ計上しております。

6目その他営業費用の26節貸倒引当金繰入額20万6,000円につきましては、滞納分の水道使用料について、将来的な不納欠損に備えるため、回収不能見込み額を引き当てることと義務化されたことから計上しているものでございます。

次に、32ページをお願いいたします。2項営業外費用としまして、起債借入れに係る利息1,545万8,000円に一時借入金利息27万4,000円を加え1,573万2,000円を計上しております。

2目の消費税につきましては、水道料金などの仮受消費税から水道事業費用の仮払消費税を差し引いた1,050万円の納付を見込んでおります。

次に、33ページをお願いいたします。資本的収入及び支出でございますが、資本的収入は見込んでおりません。次に、資本的支出で、1項建設改良費、1目設備拡張費の264万6,000円は南4条通りの配水管布設工事で、2目設備改良費の2,980万円は委託料として浄水場の受変電設備更新に伴います工事監理委託料75万8,000円、工事請負費では栄町地区における配水管布設替に320万8,000円、それから浄水場受変電設備更新工事2,583万4,000円を計上しております。受変電設備につきましては、耐用年数が20年のところ30年を経過しておりまして、故障した際の部品調達が難しく、施設の稼働に大きな影響を及ぼすことから、これらのリスクを解消するため2カ年で更新するものでございます。

次に、2項の企業債償還金5,381万円につきましては、平成15年度までの借入れ分の元金償還でございます。

次に、4ページをお願いいたします。4ページから5ページにつきましては、先ほど説明をいたしました22ページから32ページまでの内容の総括表となっております。金額は税込みで記載をしております。4ページの収入予定額2億4,076万2,000円から5ページの支出予定額1億9,958万8,000円を差し引き4,117万4,000円の黒字となる見込みでございます。

次に、6ページをお願いいたします。資本的収入及び支出の総括表でございますが、先ほどご説明のとおり資本的収入はございませんので、資本的支出8,625万6,000円の不足額につきましては損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

次に、7ページをお願いいたします。予定キャッシュフロー計算書につきましては、現

金の増減に着目したもので、間接法により作成をしております。29年度における資金の増減につきましては、一番下の段に記載をしております期末残高から期首残高を差し引き1,675万8,000円の増加を見込んでおります。

次に、8ページから10ページの給与明細書につきましては、前年度との比較及び増減等を記載しております。ごらんをいただきまして、説明は省略させていただきます。

次に、11ページをお願いいたします。継続費に関する調書でございますが、先ほどご説明しました浄水場受変電設備更新事業について経費の総額及び年割額を記載しております。

次に、12ページをお願いいたします。債務負担行為調書でございますが、民間事業者に委託をしております浄水場等の運転管理業務につきましては、28年度から新たに3年間の委託契約を締結したことから、その金額と財源内訳を記載しているものでございます。

次に、13ページから15ページにつきましては、平成29年度期末時点での水道事業の財政状況を示す予定貸借対照表でございます。ここからご説明いたします財務諸表につきましては、全て税抜きの金額を記載しております。

次に、16ページの平成28年度予定損益計算書につきましては、経営成績の見込みを示すもので、下から3行目に記載をしております当年度純利益は4,524万5,000円の見込みとなっております。

次に、17ページから19ページは、平成28年度期末の予定貸借対照表でございます。ごらんをいただきまして、説明は省略させていただきます。

次に、20ページから21ページの注記につきましては、制度改正により義務化されたもので、該当する内容をそれぞれ記載しております。ごらんをいただきまして、説明は省略させていただきます。

以上で水道事業の予算説明とさせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○磯野委員長 以上で各会計予算の内容説明を終わります。

お諮りします。各会計予算の質疑、討論、採決に入る前に、各会計予算の内容審査を提案者側の出席を求めながら行い、その後各議案について議案ごとに一括質疑を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○磯野委員長 異議なしと認め、ただいま説明した順序に従って進めることに決定しました。

◎延会の宣告

○磯野委員長 お諮りします。

本日の委員会はこの程度にとどめて終了し、明日また再開をしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○磯野委員長 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれにて終了することに決定しました。

明日は午前10時から本委員会を再開いたします。

(延会 午後 2時10分)